

# 広報そうまと振り返る 市制施行70周年

表紙写真から見る市の出来事（『相馬市政だより』編）

世間の出来事

表紙写真から見る市の出来事（『広報そうま』編）

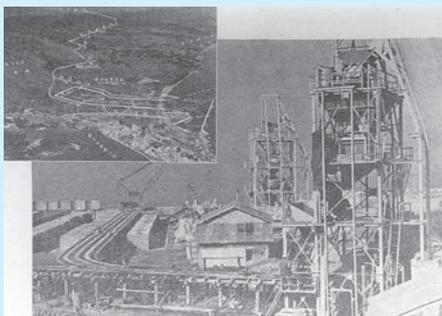
世間の出来事

相馬市は、昭和29年3月31日に市制を施行し、令和6年3月31日に市制施行70周年を迎えました。今回の特集では、相馬市の歩みを10年ごとに振り返り、未来の相馬市につながる夢と希望を紹介します。

## 昭和39年（1964年）

地方港湾「相馬港」の指定を受け、本格的な相馬港の整備を開始。

- 昭和39年度一般会計予算総額 5億4,586万円
- 昭和39年6月1日時点総人口 38,442人



建設が進む相馬港（『相馬市政だより』13号、昭和39年6月27日発行）

▽東京でアジア初のオリンピック開催  
▽東海道新幹線開通 など

## 昭和29年（1954年）

相馬郡宇多郷の中村町とその周辺7村が合併し、相馬市制を施行した。

- ※広報そうまの前身「市政だより」の創刊は昭和31年7月です。
- 昭和29年度一般会計予算総額 1億9,115万円
- （参考）昭和29年総人口 43,260人



相馬市制施行ごろの市役所庁舎（『相馬市勢要覧 昭和30年度版』昭和31年1月発行）

▽第五福竜丸がビキニで被ばく▽洞爺丸（青函連絡船）が転覆し、死者1,000人超 など

## 平成16年（2004年）

大相撲栃東関と玉ノ井親方が市内で優勝パレード。

- ※パレード実施は、平成15年12月。
- 平成16年度一般会計予算総額 130億3,163万円
- 平成16年4月1日時点総人口 39,168人



栃東優勝パレード（『広報そうま』674号、平成16年1月1日発行）

▽新潟県中越地震発生▽台風23号が発生し近畿・中部地方を横断して関東へ、全国で被害 など

## 平成6年（1994年）

「'94三笠宮杯ツール・ド・とうほく」が相馬港周辺で開催。

- 平成6年度一般会計予算総額 143億9,555万円
- 平成6年4月1日時点総人口 39,760人



ツール・ド・とうほく（『広報そうま』450号、平成6年9月1日発行）

▽松本サリン事件▽日本人初の女性宇宙飛行士、向井千秋さんが宇宙へ など

昭和 63 年 (1988 年)  
6 月には、『相馬市政だより』300 号を記念して、名称が『広報そうま』に変更になったよ。



### 昭和 59 年 (1984 年)

5 月、長友グラウンドで「ミニ野馬追」が行われ、当時で二十数年ぶりに中村城下で神旗争奪戦が披露された。

- 昭和 59 年度一般会計予算総額 78 億 96 万円
- 昭和 59 年 4 月 1 日時点総人口 39,614 人



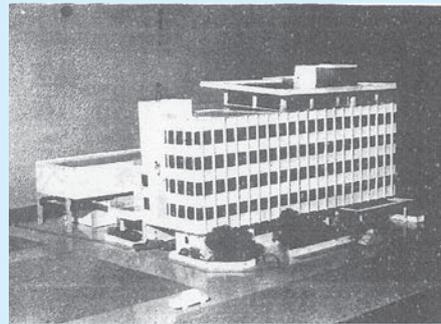
「ミニ野馬追」神旗争奪戦 (『相馬市政だより』252 号、昭和 59 年 6 月 1 日発行)

▽国鉄の赤字ローカル線、三陸鉄道が全国初の第 3 セクターに▽グリコ・森永事件 など

### 昭和 49 年 (1974 年)

新庁舎の建設に着工。地上 6 階、地下 1 階。前年に火事で庁舎が焼失したことによるもの。

- 昭和 49 年度一般会計予算総額 32 億 7,066 万円
- 昭和 49 年 4 月 1 日時点総人口 36,964 人



新庁舎の完成模型 (『相馬市政だより』138 号、昭和 49 年 12 月 1 日発行)

▽「狂乱物価」(消費者物価上昇率 20 パーセント以上) が国民生活を直撃▽原子力船「むつ」放射線漏れ など

### 平成 26 年 (2014 年)

東京農業大学と農家らが連携した被災水田の復興開始から 3 年目。作付面積が飛躍的に広がった。

- 平成 26 年度一般会計予算総額 467 億 2,943 万円
- 平成 26 年 4 月 1 日時点総人口 35,926 人



そうま復興米 (『広報そうま』930 号、平成 26 年 10 月 1 日発行)

▽安倍内閣が集团的自衛権の行使容認  
▽御嶽山噴火で死者 57 人▽消費税 8 パーセントへ引き上げ など

### 平成 23 年 (2011 年)

3 月 11 日、東日本大震災が発生し、相馬市では、458 人の方が亡くなり、住宅被害は 5,584 棟に及んだ。

- 平成 23 年度一般会計予算総額 435 億 1,901 万円
- 平成 23 年 3 月 1 日時点総人口 38,054 人



東日本大震災への緊急対応を知らせる広報紙 (『広報そうま』号外、平成 23 年 3 月 14 日発行) と震災時の相馬市の様子



▽サッカー女子ワールドカップで「なでしこジャパン」が優勝▽ギリシャの財政危機発端にヨーロッパの信用不安 など

※世間の出来事は、NHK アーカイブス「毎年を象徴するおもな出来事」から引用。

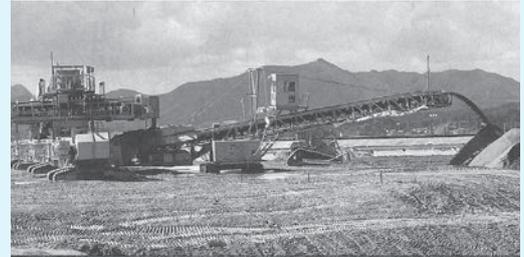
# これからの相馬市。

市は、産業では重要港湾相馬港を背景とした発電所用地と工業用地を一体的に造成する電源地帯工業団地の整備、都市計画では市街地の区画整理事業などに取り組んできました。

主な出来事を広報などに掲載された写真とともに振り返ります。

## ●相馬中核工業団地

- ▽昭和 46 年 3 月＝福島県が相馬地域総合開発計画を策定  
※同計画は、相馬市と新地町にわたる 577 ヘクタールの区域に工業団地を造成するもの。
- ▽昭和 62 年 3 月＝工業団地の造成工事に着手
- ▽昭和 63 年 1 月＝工業団地西地区から工業団地東地区へ土砂運搬ベルトコンベヤー始動
- ▽平成元年 10 月＝予約分譲開始
- ▽平成 5 年 3 月＝工業団地完成



平成元年ごろのベルトコンベヤー（『広報そうま』334号、平成元年11月1日発行）



現在の工業団地西地区（令和4年撮影）



現在の工業団地東地区（令和4年撮影）



平成3年ごろの工業団地西地区（『広報そうま』386号、平成4年1月1日発行）

## ●高速道路

### 【常磐自動車】

- ▽平成 24 年 4 月＝南相馬インターチェンジ～相馬インターチェンジ間開通
- ▽平成 26 年 12 月＝相馬インターチェンジ～山元インターチェンジ間開通

### 【相馬福島道路（東北中央自動車道）】

- ▽令和元年 12 月＝相馬インターチェンジ～相馬山上インターチェンジ間開通
- ▽令和 3 年 4 月＝全線開通



令和元年の相馬 IC～相馬山上 IC 間開通式（『広報そうま』1058号、令和2年2月1日発行）



平成24年の南相馬 IC～相馬 IC 間開通パレード（『広報そうま』872号、平成24年5月1日発行）

## ●土地区画整理事業

道路、公園、河川などの公共施設を整備・改善し、土地の区画を整え宅地の利用の増進を図るため、次の地区を整備してきました。

- ▽昭和 24～31 年度＝相馬駅前第一（中村一丁目、二丁目）
- ▽昭和 42～47 年度＝相馬駅前第二（前沢目地区）
- ▽昭和 46～55 年度＝川沼（川沼地区）
- ▽昭和 55～平成 11 年度＝相馬駅東（駅東地区）



昭和58年ごろの整備が進む相馬駅東（『相馬市政だより』235号、昭和58年1月1日発行）



昭和49年の川沼地区のうち整備が完了した区画（『相馬市政だより』132号、昭和49年6月1日発行）

# 70周年の相馬市。

## ●相馬港

▽昭和35年1月＝地方港湾の指定を受け、「相馬港」と命名

▽昭和49年4月＝重要港湾に指定

▽昭和63年6月＝関税法による開港指定

※関税法第2条に基づく開港とは、貨物の輸出入および外国の貿易船の入港または出港が政令によって許されている港のこと。



昭和45年ごろの相馬港（福島県ホームページ「相馬港について」より引用）



昭和35年の相馬港の地方港湾指定祝賀行事（『相馬市のうごき 昭和35年版』（市勢要覧）昭和35年2月発行）



昭和63年の相馬港開港式（『広報そうま』302号、昭和63年7月1日発行）

## ●水産業

平成15年10月、磯部漁協、松川浦漁協、相馬原釜漁協ら7つの漁協が合併し、相馬双葉漁協が設立。

主要な水産物は次のとおり。▽コオナゴ▽アサリ▽ホッキ貝▽シラス▽マガレイ▽ヒラメ▽青ノリ▽トラフグ



令和5年の福とら初水揚げ（『広報そうま』1148号、令和5年11月1日発行）



昭和58年ごろの松川浦漁港（『伸びゆく相馬』（市勢要覧）昭和58年5月発行）



平成13年ごろのカニまつり

## 市民の皆さんへ

昭和29年3月、市制施行に伴う「福島県相馬市建設計画」では、物資輸送を容易にし、加工場などの誘致につなげるために商港の実現を掲げており、昭和63年6月には相馬港開港に至りました。市はこれまで、市民の皆さんとともに財政非常事態や東日本大震災など数々の困難を乗り越えてきました。今後も、さまざまな事業や課題に取り組んでいくことが、先人の労苦に報いることだと考えています。70年の節目を市民の皆さんと祝い、気持ちを一つにして歩んでまいります。

●問い合わせ先 情報政策課（☎ 37-2117）